



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場会社名 ユニプレス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5949 URL <https://www.unipres.co.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)浦西 信哉  
問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)斉藤 直樹 (TEL) (045) 470-8631  
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月4日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	161,675	21.4	2,755	—	3,272	—	807	—
2023年3月期第2四半期	133,174	11.6	△2,771	—	△1,412	—	△1,839	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 20,078百万円 (19.0%) 2023年3月期第2四半期 16,877百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	18.14	—
2023年3月期第2四半期	△41.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	334,043	168,209	44.3
2023年3月期	313,057	149,206	42.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 147,998百万円 2023年3月期 133,018百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2024年3月期	—	15.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	313,000	2.8	7,500	100.6	6,500	29.2	2,900	16.7	65.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	47,991,873株	2023年3月期	47,991,873株
2024年3月期2Q	3,433,251株	2023年3月期	3,525,236株
2024年3月期2Q	44,497,275株	2023年3月期2Q	44,607,649株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は、一部地域におけるCOVID-19の影響はあったものの、得意先の増産影響及び為替影響等による増加があったことにより、売上高は1,616億円（前年同期比285億円増、21.4%増）となり、営業利益は27億円（前年同期は27億円の損失）、経常利益は32億円（前年同期は14億円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億円（前年同期は18億円の損失）となりました。

なお、今後の生産状況につきましては、エネルギー関連コストの上昇や労働市場の逼迫の影響が依然不透明な状況はあるものの、新車部品立上げとその量産効果が期待されており、当社グループの販売状況の更なる回復が見込まれております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 日本

得意先の増産影響等により売上高は537億円（前年同期比111億円増、26.1%増）となり、セグメント損益（営業損益）は3億円の利益（前年同期は22億円の損失）となりました。

#### ② 米州

得意先の増産影響及び為替影響等により、売上高は555億円（前年同期比187億円増、50.9%増）となり、セグメント損益は38億円の利益（前年同期は8千万円の損失）となりました。

#### ③ 欧州

得意先の増産影響及び為替影響等により、売上高は226億円（前年同期比55億円増、32.1%増）となったものの、セグメント損益は新車部品立上に伴う費用増加等により6億円の損失（前年同期は3億円の損失）となりました。

#### ④ アジア

為替影響はあったものの得意先の減産影響等により、売上高は297億円（前年同期比68億円減、18.7%減）となり、セグメント損益は11億円の損失（前年同期は1億円の利益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が84億円、棚卸資産が48億円、有形固定資産が41億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ209億円増の3,340億円となりました。

負債につきましては、長短借入金が81億円減少したものの、支払手形及び買掛金が58億円、その他流動負債が31億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ19億円増の1,658億円となりました。

純資産につきましては、為替換算調整勘定が146億円、非支配株主持分が40億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ190億円増の1,682億円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.8ポイントプラスの44.3%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加、棚卸資産の増加等があったものの、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費等により116億円の収入（前年同期比20億円の収入増）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、日本、米州を中心とした固定資産の購入及び定期預金の増加等により93億円の支出（前年同期比58億円の支出増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長短借入金の返済等により142億円の支出（前年同期比91億円の支出増）となりました。

これらに為替変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ59億円減の420億円となりました。

資本の財源及び資金の流動性につきましては、当社グループは、現在及び将来の事業活動のために適切な水準の流動性維持及び効率的な資金の確保を最優先としております。これに従い、営業活動によるキャッシュ・フローの確保に努めると共に、自己資金を効率的に活用しております。

当社グループの運転資金需要の主な内訳は、自動車部品製造、プレス用金型製作のための材料および部品の購入のほか、労務費、製造経費、販売費および一般管理費等であります。また、設備資金需要の主な内訳は、得意先のモデルチェンジに対応するための自動車用部品の生産用設備及び生産性向上、品質向上のための設備投資であります。

こうした資金需要に対しては、営業活動から得られたキャッシュ・フローを主として充当し、必要に応じ銀行借入等でまかなっております。さらに、グループファイナンスを効率よく行うこと及び金融費用の削減を目的として、資金余剰となっている国内子会社から当社が資金を借り入れ、資金需要が発生している国内子会社に貸出を行うキャッシュ・マネジメント・システム(CMS)を導入しております。

当第2四半期連結会計期間末において、流動資産は1,553億円（前連結会計年度末比147億円増）、流動負債は1,299億円（同29億円増）となり、その結果、流動比率は119.6%と前連結会計年度末に比べ8.8ポイントプラスとなっております。

営業活動から得られるキャッシュ・フロー、資金調達手段、流動比率の水準に基づき、当社グループは、将来の債務履行のための手段を十分に確保しているものと考えております。

当社は、当第2四半期連結会計期間末現在、資金の流動性を確保するため、シンジケーション方式のコミットメントライン契約による銀行融資枠及び当座貸越契約による銀行融資枠を547億円設定しており、その未使用枠は301億円となっております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、概ね予想の範囲内で推移していることから、2023年5月11日に公表いたしました予想を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	48,033	48,030
受取手形及び売掛金	50,842	59,269
棚卸資産	27,036	31,890
その他	14,820	16,278
貸倒引当金	△107	△85
流動資産合計	140,625	155,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	41,804	44,281
機械装置及び運搬具（純額）	72,545	74,809
土地	8,018	8,245
建設仮勘定	5,526	5,232
その他（純額）	13,548	13,034
有形固定資産合計	141,442	145,602
無形固定資産		
投資その他の資産	6,528	6,795
投資有価証券	8,561	9,227
その他	15,903	17,037
貸倒引当金	△4	△3
投資その他の資産合計	24,460	26,260
固定資産合計	172,432	178,658
資産合計	313,057	334,043
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,392	43,266
電子記録債務	3,036	3,460
短期借入金	61,181	54,754
未払法人税等	657	665
賞与引当金	2,624	2,530
訴訟損失引当金	74	73
その他の引当金	83	53
その他	21,915	25,104
流動負債合計	126,966	129,909
固定負債		
長期借入金	18,612	16,887
関係会社整理損失引当金	1,417	1,501
その他の引当金	160	76
退職給付に係る負債	7,593	8,526
その他	9,100	8,933
固定負債合計	36,883	35,924
負債合計	163,850	165,833

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,168	10,168
資本剰余金	13,398	13,361
利益剰余金	109,969	110,331
自己株式	△5,398	△5,257
株主資本合計	128,138	128,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,590	1,868
為替換算調整勘定	8,362	22,988
退職給付に係る調整累計額	△5,072	△5,463
その他の包括利益累計額合計	4,880	19,394
非支配株主持分	16,188	20,210
純資産合計	149,206	168,209
負債純資産合計	313,057	334,043

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	133,174	161,675
売上原価	123,447	145,407
売上総利益	9,726	16,267
販売費及び一般管理費	12,498	13,512
営業利益又は営業損失(△)	△2,771	2,755
営業外収益		
受取利息	626	1,510
受取配当金	79	80
為替差益	383	—
受取賃貸料	230	209
補助金収入	543	265
関係会社整理損失引当金戻入額	539	—
その他	103	138
営業外収益合計	2,506	2,203
営業外費用		
支払利息	702	1,197
貸与資産減価償却費	170	146
為替差損	—	76
持分法による投資損失	128	1
その他	146	264
営業外費用合計	1,147	1,686
経常利益又は経常損失(△)	△1,412	3,272
特別利益		
固定資産売却益	37	50
特別利益合計	37	50
特別損失		
固定資産処分損	31	53
訴訟関連損失	14	—
特別損失合計	46	53
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,421	3,268
法人税等	△46	1,341
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,374	1,927
非支配株主に帰属する四半期純利益	464	1,119
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,839	807



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,374	1,927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△124	208
為替換算調整勘定	18,233	18,055
退職給付に係る調整額	△102	△390
持分法適用会社に対する持分相当額	246	277
その他の包括利益合計	18,252	18,151
四半期包括利益	16,877	20,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,892	15,320
非支配株主に係る四半期包括利益	2,985	4,757

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,421	3,268
減価償却費	11,295	12,463
賞与引当金の増減額(△は減少)	△539	△163
受取利息及び受取配当金	△706	△1,590
支払利息	702	1,197
持分法による投資損益(△は益)	128	1
固定資産処分損益(△は益)	△5	3
売上債権の増減額(△は増加)	7,606	△3,624
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,412	△2,516
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,599	3,949
未払金の増減額(△は減少)	△253	△2,356
その他	795	1,473
小計	10,413	12,106
利息及び配当金の受取額	732	1,616
利息の支払額	△702	△1,197
法人税等の支払額	△849	△846
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,594	11,679
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	—	△5,865
有形固定資産の取得による支出	△3,344	△3,455
有形固定資産の売却による収入	158	56
無形固定資産の取得による支出	△316	△247
関係会社貸付けによる支出	△454	△498
関係会社貸付金の回収による収入	507	381
その他	△48	246
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,496	△9,382
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	452	△8,763
長期借入れによる収入	37	3,800
長期借入金の返済による支出	△3,047	△7,163
リース債務の返済による支出	△1,052	△909
自己株式の取得による支出	△500	△0
配当金の支払額	△449	△444
非支配株主への配当金の支払額	△544	△735
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,103	△14,216
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,288	5,932
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,281	△5,987
現金及び現金同等物の期首残高	30,798	48,033
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,079	42,045

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年7月10日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式92,055株の処分を行いました。この処分等により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が141百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末の自己株式は5,257百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	42,635	36,805	17,157	36,575	133,174	—	133,174
セグメント間の内部売上 高又は振替高	6,828	4	1	292	7,126	△7,126	—
計	49,464	36,810	17,158	36,868	140,300	△7,126	133,174
セグメント利益又は損失 (△)	△2,279	△89	△381	163	△2,586	△185	△2,771

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△185百万円は、のれんの償却額△68百万円及びセグメント間取引消去△116百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	53,757	55,526	22,658	29,733	161,675	—	161,675
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,419	13	0	298	2,730	△2,730	—
計	56,176	55,539	22,658	30,031	164,406	△2,730	161,675
セグメント利益又は損失 (△)	396	3,866	△649	△1,124	2,489	266	2,755

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額266百万円は、のれんの償却額△74百万円及びセグメント間取引消去341百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。